

琵琶湖の保全及び再生に関する施策の実施状況

- ・ 野洲川河口部ヨシ帯の再生

国土交通省

課題 魚類の生息場の消失

矢板護岸により、水域と陸域が**分断**し、ニゴロブナなどの産卵や仔稚魚の生息場が消失

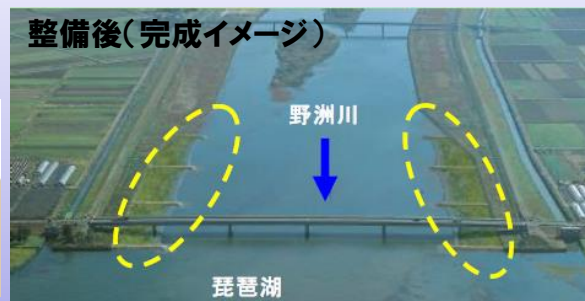
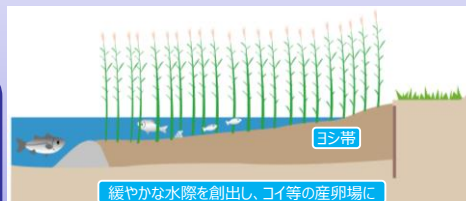


対応 魚類の産卵・生育環境を改善

ヨシ原で形成される水陸移行帯*を**再生**

*水陸移行帯とは、河川、湖沼の水面と地表面が交わる場所です。

水域・陸域が入り組み多様な環境のある場で、**生物の生息・生育環境上重要な役割**を果たしています。



整備状況

令和元年度までヨシ帯整備を実施
令和2年度以降は、モニタリングを実施

今年5・6月の野洲川河口部右岸側での稚魚確認結果
651個体 (過去3年 平均676個体)

施工直後

(平成22年4月23日)



施工後9年目

(平成30年8月14日)



野洲川河口部 ヨシ帯 繁殖面積

(単位: m)
資料提供: 京都大学 田中准教授
※は、ヨシ域生面積を表示

